

梅鶯仏教壮年

第63号
2008年
10月13日

梅鶯仏教壮年 報恩

講

十一月十五日(土)
午後六時より

去る9月22日・23日に、恒例の梅鶯仏教壮年旅行が開催されました。初日は、龍谷大学大宮学舎を特別観覧し、平日では一般公開されていない大宮学舎本館(重要文化財)や図書館の貴重書である類聚古集(国宝)・シルクロード大谷探検隊資料(重要文化財)などを特別に拝観させて頂きました。大宮学舎本館の講堂では、厳粛な趣の中で、文学部長赤松徹真教授より御法話を賜りました。夜には会員の親睦を深めました。翌日には本山で、秋、翌日にはご本参拝致しました。



インド仏跡巡拝の旅 ②

釈尊の聖地を訪ねてー

副会長 森 勝昭

2月2日(2日目)

気温10℃→20℃

4時30分起床。1時間程度の睡眠という強行軍だ。

5時30分朝食、6時30分には出発となる。

飛行機が約1時間遅れる。場内・機内放送何にもない。

日本だったならうるさいことだけ

れど、お国柄が分かる。

UP州ラクノーに向かい、州立博物館を見学した。

博物館をバスにて、ラクノー

から、舎の祇園

る、舎の祇園

バスの道のイ

り1の道のイ

5kmの道のイ

5kmの道のイ



ラクノー市内

ラクノー州立博物館



わたるガタガタ道にゆつと旅館に着いた。

2月3日(3日目)

鳩摩羅什三蔵が訳されたあの

『如是我聞 祇樹給孤獨園』

舎衛國 祇樹給孤獨園

釈尊が説かれた説法が阿弥陀經

です。

法話の中に出てきたり、ご住職

さんが法事などでお勤めされてい

るの、この足でここに立ってい

自分のこの足でここに立ってい

て、感無量であった。

『阿弥陀經』をはじめとする、

現存している經典の7/8割がこ

れで説かれたといわ

祇園精舎スラバス

クシナガラへ、滅の地

シヨンの良くないバツ

スで約200kmを

6時間ゆられて

菜の花畑3割、さ

うき畑が1割の広

大な農地が広が

いる。



祇園精舎

A group of people, including men and women, are walking along a paved street. In the background, there is a traditional Japanese building with a dark wooden facade and a tiled roof. The scene appears to be a historical or cultural site.